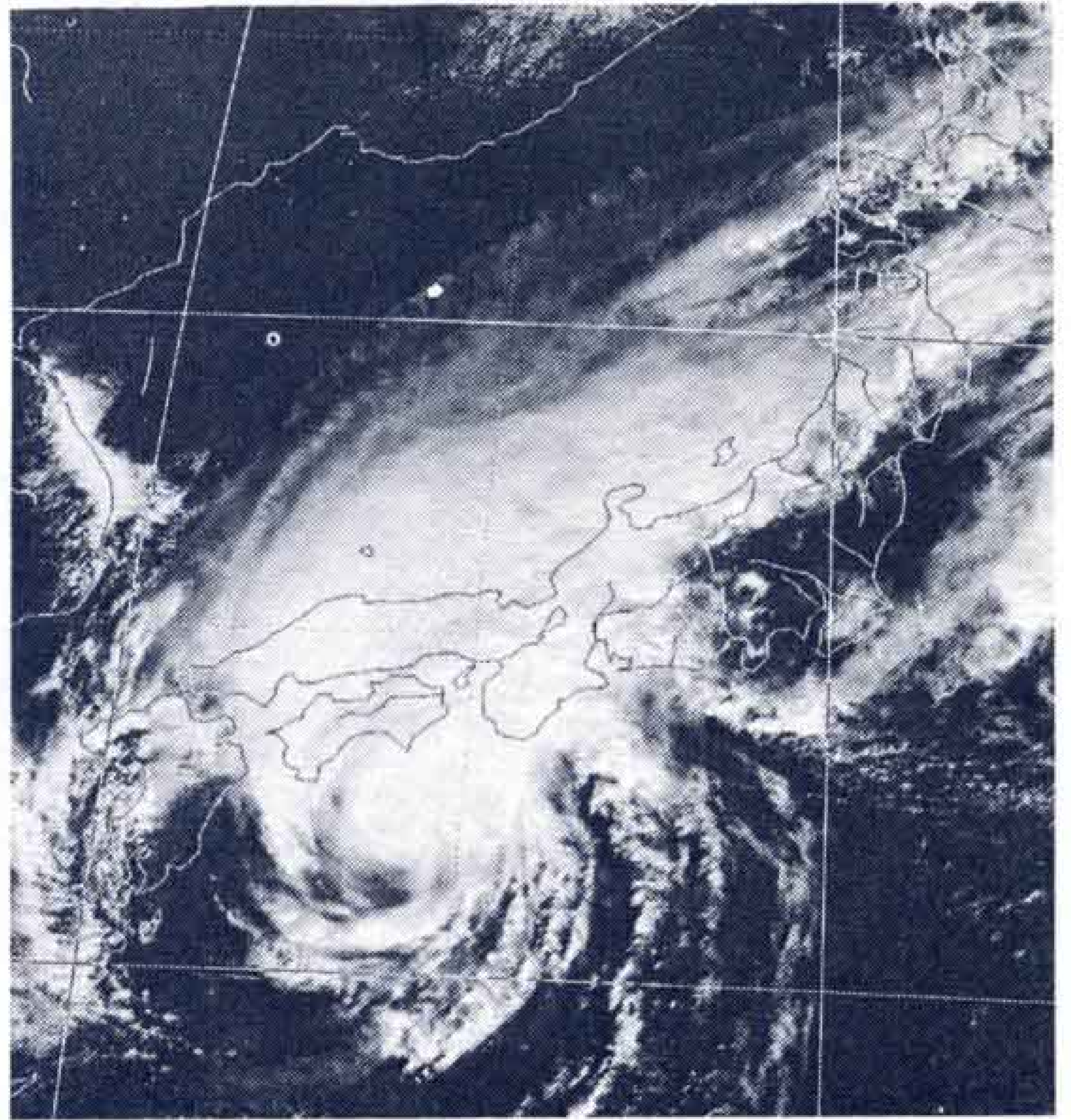


台風に備えて



気象衛星「ひまわり」から見た台風

今年は台風の当り年だともいわれています。
先の台風10号では、各地に大きな被害が出ました。
台風に備えるためには、正確な情報の把握と早めの対応策が必要です。テレビ・ラジオなどの情報に十分注意し、早めに必要な対策をたてておきましょう。

情報は正確に

台風が近づくと、テレビやラジオを通じて「台風情報」が発表されます。その情報を1度だけ聞いて、自分で判断を下すのは大変危険です。

台風の進路や勢力は、まるで生き物のように刻々と変化するからです。朝の予報では夕方ごろに上陸との見通しも、午後になって急に早まったり、遅くなったりということがよくあります。

正確な情報を得るためには、1度の予報だけでひとりよがりな判断はせず、次々に出される予報を注意深く聞いて、その都度判断するようにしましょう。

台風情報では、必ず大きさと強さをあわせて発表します。この大きさと強さは必ずしも正比例しませんので注意しましょう。「小型だから安心」などと、たかをくくっていると強い台風だったりして、思わぬ被害をこおむることがあります。

家屋の補強は早めに

台風が近づくことがわかったら、早めに必要な対応策をたてておきましょう。

まず、家屋の補強は早めに！煙突、看板、テレビのアンテナ、塀などの補強を十分にすること。また、窓や雨戸などは、釘づけにしたり、板をあてて補強しましょう。家の周囲は、整理整頓し、風で物が吹きと



ばされないようにしましょう。

停電に備え、懐中電燈やトランジスタラジオの用意はもちろん、いざというときのために、非常持出品などの用意も忘れずに。当面の食料品、飲料水、応急医薬品、ビニール袋、お金なども用意しておきましょう。

正確な情報の把握と早めの対応は、台風の被害を最少限にくだめします。

グループ訪問 ⑤⑥



アトム最新号を手にする高田さん

雑誌の発行を通して若者としての行動の出発点にしたい。体制に順応せず、疑問を持つて真剣に現実を直視していきたい。そんな思いが通じあつて、東京の仲間と共にミニコミ誌をつくって三年目。B5判二十頁立の雑誌はイラストや記事でいっぱい。現在は部数百六十だが、今に何百倍にも成長させ、プロの編集者になるのが夢。誌上で古切手集めを呼びかけたところ、予想以上の協力と親切な心にかぶれることが出来たと感激している。これまでの活動で、本物とニセ物とが何となくわかりかけてきたという。持続してほしい真白な若者の小グループ。

ミニコミ誌

アトムの村

(ATOM・アトム)

プロフィール

主幹は富士見台に住む女子大1年生の高田五月さん(19歳)。地元の女子高2年の時から発行している。しかし9月から米国へ留学するため1年間は休刊となりそう。充電後の来年の発行が楽しみ。留守中の連絡は家族がやってくれる。☎21-0216